

所属・氏名（ 保健医療学部 医療技術学科 村田 芳博 ）

著書、学術論文等の名称		単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1	(著書) 人間の許容・適応限界事典	分担 単著	2022 年 11 月	朝倉書店	人間の許容・適応限界を様々な側面からまとめた事典。 (総ページ数:820 頁) (編者:村木里志・長谷川博・小川景子) 第Ⅱ章 感覚: 9. 嗅覚、10. 口腔内体性感覚、11. 味覚を担当。 (担当ページ:p.p.112～124、単著)
2	(学術論文) Activation of arginine vasopressin receptor 1a reduces inhibitory synaptic currents at reciprocal synapses in the mouse accessory olfactory bulb	共著	2024 年 9 月	Frontiers in Cellular Neuroscience	個体間認知の促進など複雑な社会的行動に關与する鋤鼻感覚系(副嗅覚系)において、バソプレシンが V1a 受容体を介してマウス副嗅球僧帽細胞-顆粒細胞間相反性シナプス伝達を抑制すること、その作用点の一部は顆粒細胞にあることをパッチクランプ法を用いた電気生理学実験で明らかにした。 (ページ数:8 頁) (著者: Taniguchi M, <u>Murata Y</u> , Yamaguchi M, Kaba H)
3	(学術論文) Synaptic plasticity and roles of orexin in distinct domains of the olfactory tubercle 《共同責任著者》	共著	2024 年 11 月	Frontiers in Neural Circuits	「食べたい」というモチベーション行動の神経メカニズムの解明に向けて、本研究では、1) 嗅結節のシナプス伝達で長期増強(LTP)が誘導されること、2) 食欲亢進ペプチド・オレキシンが嗅結節の特定の領域(学習依存的に匂い情報を誘引行動へ結び付けるドメイン)で LTP 誘導を促進することを、急性脳スライス標本を用いた電気生理学実験で明らかにした。 (ページ数:9 頁) (著者: Podder A, <u>Murata Y</u> , Shimizu S, Taniguchi M, Yamaguchi M)
4	(学術論文) Function of orexin-1 receptor signaling in the olfactory tubercle in odor-guided attraction and aversion	共著	2024 年 12 月	Communications Biology	食欲促進ホルモンであるオレキシンの受容体阻害薬を嗅結節に注入すると、匂いの嗜好性が誘引から忌避に変化すること、その際に匂いの嗜好性を規定する神経細胞の活性化パターンが変化することを明らかにした。 (ページ数:13 頁) (著者: Ahasan MM, Alam MT, <u>Murata Y</u> , Taniguchi M, Yamaguchi M)
5	(学術論文) Impairment of re-learning of olfactory behaviors in mice expressing intracellular myloid-β protein oligomers	共著	2025 年 10 月	Journal of Alzheimer's Disease	アミロイドβ蛋白の細胞内蓄積を生じる遺伝子改変マウスの嗅覚機能を調べたところ、匂いの検出・識別、匂いと報酬の連合学習、またその長期記憶に異常はなかったが、匂いと報酬の再学習に障害が見られた。 (ページ数:19 頁) (著者: Iwame S, Izu K, <u>Murata Y</u> , Taniguchi M, Ochiishi T, Yamaguchi M)

令和 8 年 4 月 1 4 日 現在